

(博士前期課程) ロボティクス&デザイン工学研究科【システムデザインコース】 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

機械・電気・電子・情報・計測・制御・通信などの専門能力と、デザイン思考による課題解決手法を基盤とし、人が人らしく豊かに暮らせる社会の実現に寄与する高度専門技術者を養成する。

<求める人物像>

- ロボティクス&デザイン工学専攻および、システムデザイン分野の教育目標を理解し、その目標の達成に向けて努力できる人物
- 豊かな人間性をそなえ、ロボティクス&デザイン工学専攻が包含する幅広い技術を融合的に活用し、人間にとって価値ある新たな機器・サービスを創出する意欲を持った人物
- コミュニケーションの重要性を認識し、向上心を持って実践的「ものづくり」を行う場で責任ある行動をとれる人物

入学前に学修しておくことが期待される内容

学部で学修した専門科目の知識や技能を確実に身に付けていること。知識をもとにして他者と共働しながら論理的な思考ができること。分野において研究成果をプレゼンテーションできる能力が求められる。また、広く情報を収集し理解するための英語読解能力、当該分野の研究者と意見交換できる英会話能力、研究成果を世界に向けて発信するための英語学術論文作成能力などの基本的な英語力が必要である。さらに、工学倫理（研究者倫理）を修得しておくことが望ましい。

学内進学者入試

面接試問では、大学院への進学に向けた研究および勉学に対する意欲、意識を確認する。旺盛な知的的好奇心と探究心、豊かで柔軟な発想力といった資質を備えているかを審査する。また、英語力を持続・発展させるために、合格内定後も継続して TOEIC 公開テストあるいは TOEIC IP テスト受験することが望ましい。

一般入試

学科試験では数学、制御工学、材料力学、機械力学、電気回路の知識を問う試験を行う。また英語については TOEIC の成績を評価するので必ず受験しておくこと。

社会人入試

面接試問では、研究及び勉学に対する意欲、意識を確認する。旺盛な知的好奇心と探究心、豊かで柔軟な発想力といった資質を備えているかを審査する。書類審査では、大学院で科目を履修し、研究活動をするために必要な知識を学んでいるかを審査する。

外国人留学生入試

英語を十分学修すること。またロボット工学の基礎を理解し論述できる、十分な日本語能力を修得すること。

学内進学者入試 一般入試 社会人入試 外国人留学生入試 共通

専門分野の先人の知見を理解したうえで、自分の研究の目的を設定し、その新規性、有用性を説明し、研究を遂行し有意な成果をあげて論文化し、プレゼンテーションすることが求められる。